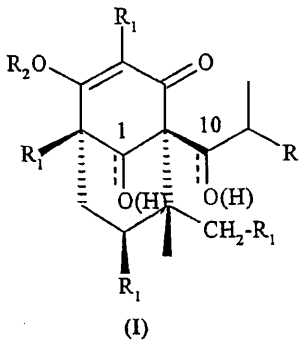
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-523917(P2005-523917A)
【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)
【年通号数】公開・登録公報2005-031
【出願番号】特願2003-587762(P2003-587762)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　49/733　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/122　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/24　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　49/743　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/145　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　49/733　ＣＳＰ
Ａ６１Ｋ　31/122
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/24
Ａ６１Ｐ　25/28
Ｃ０７Ｃ　49/743　Ｃ
Ｃ０７Ｃ　69/145

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
医薬品として使用するのための、式（Ｉ）
【化１】



(I)

［式中、Ｒは、メチル又はエチルであり、$Ｒ_2$は、水素、医薬的に許容される、無機もしくは有機塩基カチオン、又は直鎖もしくは分岐鎖状の$Ｃ_2$～$Ｃ_5$アシル残基であり、かつａ）$Ｒ_1$が３－メチル－ブタン－１－イルであり、かつオキソ基が１位及び１０位に存在する；

ｂ）R_1が３－メチル－２－ブテン－１－イルであり、かつヒドロキシ基が１位及び１０位に存在する；
ｃ）R_1が３－メチル－ブタン－１－イルであり、かつヒドロキシ基が１位及び１０位に存在する、のいずれかである］のハイパーフォリン及びアドハイパーフォリン誘導体。
【請求項２】
うつ病及びアルツハイマー病の処置において使用するための医薬品の調製のための、請求項１記載の誘導体。
【請求項３】
R_2が水素である、請求項１又は２に記載の誘導体。
【請求項４】
R_2がリチウムであり、R_1が３－メチル－ブタン－１－イルであり、かつオキソ基が１位及び１０位に存在する、請求項１又は２に記載の誘導体。
【請求項５】
Ｒがメチルである、請求項４に記載の誘導体。
【請求項６】
R_2がアセチルであり、R_1が３－メチル－ブタン－１－イルであり、かつオキソ基が１位及び１０位に存在する、請求項１又は２に記載の誘導体。
【請求項７】
Ｒがメチルである、請求項６に記載の誘導体。
【請求項８】
ドデカヒドロハイパーフォリン（Ｉｅ）、ドデカヒドロアドハイパーフォリン（Ｉｆ）、アセチルオクタヒドロハイパーフォリン（Ｉｈ）、及びアセチルオクタヒドロアドハイパーフォリン（Ｉｉ）より選択される化合物。
【請求項９】
請求項４の化合物を含有している医薬組成物。